

【記入例】

採 用 者 給 料 査 定 書

太枠で囲んだところのみ記入する

平成9年1月1日以降の臨時的任用時の職員番号	※	※	→319367	戸籍上の氏名を正確に記入する			
	和歌山 太郎						
令和5年4月1日現在の満年齢	生年月日 (昭和)・平成56年 8月13日生 40歳						
高等学校から記入、大学は専攻学科まで	修学歴	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数	学校名(学部・専攻学科)	卒業・修了年月	修学年数
		〇〇高等学校 普通科	H12年 3月 ☺・修	3年		年 月 卒・修	年
留年、浪人の期間も職歴欄(1行目)に入れる	職歴	〇〇〇大学 〇〇学部〇〇学科	H17年 3月 ☺・修	4年		年 月 卒・修	年
		勤務場所(職務内容)		期 間	勤続年数		
アルバイトか正式かを記入する	職	浪人	H12年 4月～H13年 3月		1年 月		
臨時任用の場合は講師と記入する		〇〇株式会社(正式)	17年 4月～21年 3月		4年		
非常勤講師で同じ期間に2校以上勤務した場合		〇〇小学校(講師)	21年 4月～21年 7月		年 4月		
		在家庭	21年 8月～21年 8月		年 1月		
非常勤講師の場合は1週間あたりの授業時間数を記入する		〇〇小学校(講師)	21年 9月～22年 3月		年 7月		
		〇〇高等学校(非常勤講師週2h)	22年 4月～24年 3月		2年 月		
		〇〇高等学校(非常勤講師週6h)	年 月～年 月		年 月		
		〇〇高等学校(非常勤講師週8h)	24年 4月～25年 3月		1年 月		
		〇〇高等学校(初任研補充月1日)	年 月～年 月		年 月		
月1日の初任研補充も記入する		歴	〇〇中学校(講師)	25年 4月～26年 3月		1年 月	
	在家庭		26年 4月～27年 9月		1年 6月		
		〇〇中学校(講師)	27年 10月～R4年 3月		6年 6月		
		合 計			18年 月		

正規の修学年数を記入する

- 1 職歴は、卒業から令和5年3月31日(令和5年4月以降作成の場合はその時点)まで、途切れることなく記入する。ただし、浪人は職歴として記入する。
- 2 月の途中まで在家庭でその後採用された場合、その月は採用の方に入れる。
- 3 月の途中で退職しその後在家庭の場合、その月は勤務の方に入れる。
- 4 月の途中で退職し、その月中に再び採用された場合、原則、その月は採用された方に入れる。
- 5 職歴を1枚に記入しきれない場合は、2枚目以降を用意し続きを記入する。その際、すべての用紙に記名のうえ、右上をステープラー止める。